

畠山重篤氏講演会

「森は海の恋人 人の心に木を植える」

2016年10月5日

13:45~15:00 畠山重篤さんのお話

15:15~16:30 畠山重篤さんと上遠恵子さん対談

日比谷図書文化館

第一部は畠山重篤さんの講演だった。まず、東日本大震災で、それまで耕作放棄地だったところが地盤沈下の結果水が逆流して汽水湖になった話から始まった。そこには豊かな自然が戻ってきているそうだ。海は沖に行けば行くほど豊かになるということはない。実際には海水と真水の混ざり合った汽水域に植物プランクトンが増え、それを餌とする魚も増えるそうだ。カキと言えば広島が有名だが、広島の場合も太田川があり、その上流には大きなブナ林がある。30万枚の葉が腐葉土となり、川の水を通して植物プランクトンの餌となる。もう一つ、中国地方の土壤にも秘密がある、それは昔たたら製鉄をしていたことでもわかるように鉄分を多く含んだ花崗岩質だということだ。その鉄分と腐葉土が重なり合って、フルボ酸鉄というものになり、植物プランクトンに吸収される。森と鉄の二つがとても大事だということだ。昔はどこでも薪休みを作るためのナラやクヌギの林があったのだが、戦後金にならないということで全部切ってい杉や檜にってしまった。そのため山や森が荒れ、川、ひいては海が荒れて今の状況になっている。「森は海の恋人」運動を始めて30年になるが、そのスローガン「森は海の恋人」が生まれた秘話も披露された。

畠山さんの活動では当初から子どもたちを海に連れていき、体験学習をしているそうだ。カキ筏に乗ってカキの養殖や食物連鎖の話聞いた子どもたちは、家に帰り、自分や家族の生活を見つめなおして現実的に改良しようとするそうだ。子どもたちのパワーと賢さを感じた。海での食物連鎖は10倍ずつ上がっていくそうだ。例えば1Kgのカツオを考えると、そのカツオは10Kgのイワシを食べる、そのイワシは100Kgのオキアミ、そのオキアミは1000Kgつまり1トンの植物プランクトンを食べるのだ。だから、薄めて流しても結局は生体濃縮されて濃くなってしまう。

川の流域で一番問題なのはダムだそうだ。日本には川が35000くらいあるがそのほとんどにダムがある。気仙沼に流れ込む大川にもダム計画があったが、見直しで一番に無くなった。これが震災復興には大きな違いとなった。3月の震災の後、5月の調査でカキが食べきれないほどのプランクトンがいることがわかり、漁民の皆さんをほっとさせたとか。日本はこの35000の川の流域をなるべく自然に近づけていけば、食糧問題も何もない国になれるという。それほど汽水域は生命の力にあふれるところだというのが畠山さんの信念で、それは汽水湖に湧くように現れた魚から得た実感に裏付けられていて、とても納得した。

畠山重篤さんと上遠恵子さんの対談

上遠：レイチェル・カーソンへの想いをお聞かせください。

畠山：文明がどんどん進んでいる時代に問題点については発言しにくい時代だったのに、『沈黙の春』を出した。生き物が好きだということがカーソンさんをしてああいう本を書かせたのだと思います、またもう一つ、科学的な裏付けを持っていました。私が「森は海の恋人」運動を始めるときも科学的な裏付けはとても大切でした。

上遠：食物連鎖の話で、福島原発の汚染水を薄めて海に流すという前環境大臣の話がありました。漁民の方たちはどうお考えでしょうか。

畠山：あれにはびっくりしました。福島の漁民は今でもまだ魚を全然売れないのです。時々放射線値が大きくて引かかる魚がいますので。でももう少しでしょう、そんなところにあるような発言があるのですから、漁師はたまったものではありません。食物連鎖を考えれば、水俣と同じですよ。

上遠：カキの養殖をされていて、地球の温暖化のことも考えられますか？

畠山：私は温暖化についてはうのみにはしていません。実は原初の地球にはCO₂がたくさんあって、それが植物によって今のような空気組成になってきましたね、化石燃料を使うことで原初に戻っていった感じでしょうか。実は希望もあります。陸だけでなく海にも大森林があります、海藻の林ですね。ところがチッソ、リンという養分はあってもプランクトンが全然ない海があります。南極海です。鉄がないからです。南極の対岸、オーストラリアのパースのほうから南極に向けて風が吹くと、鉄分が供給されるのでプランクトンが爆発的に発生します。ただ、そうすると寒くなりますね、私は東北人ですから冷害のほうに心配で・・・。

私は温暖化についてはうのみにはしていません。CO₂問題の希望はやっぱり森にあります。我が三陸海岸は世界の三大漁場の一つです。どうしてそうなのかというのがわかったのはわずか4、5年前ですが、中国とロシアの間を流れるアムール川の流域にある大森林のおかげなのです。日本の5倍もの大森林があり、そこで作られるフルボ酸鉄が北太平洋全域を覆っているからなのです。海の鉄も森林と関係しています。「森は海の恋人」という考え方を世界中に発信していくことが海に森を作ることにつながります。これは希望があると信じています。 (文責：小川)

